

大田原市から33人の見守り視察団



・・・岡田小区社協の見守り体制を紹介・・・



平成28年7月22日に栃木県大田原市から、同市東部地区見守り隊を中心とする総勢33人の皆さんが、岡田小地区社協の1対1見守り体制の具体的な中身を知りたいとのことで、牛久市まで来られました。

当日は牛久市総合福祉センターの会議室に集まっていたき、岡田小地区社協から役員5人のほか、市社協、市社会福祉課からも担当者が出席して、1対1見守り体制とそのベースになっている牛久市の見守り台帳制度について説明しました。

大田原市の見守り体制についても説明していただき、意見交換を行いました。

大田原市は市内12地区すべての地区社協で見守り組織が結成されているそうです。

そのうちの1つである東部地区では本隊と26の地区隊が各地区の自治会をベースとして結成され、自治会長が地区隊長となって見守り隊を運営しています。



各地区隊から提出された見守り活動記録表によると、平成27年度の見守り件数は14,287件、1地区平均550件だったそうです。

「これは、我々の方から大田原市に勉強に行かなければならない」というのが牛久側の感想でした。



大田原市の視察団を
迎えて意見交換